

# 【茨城高専】昨年引き続き「企業研究会」を開催

有名企業から地域で活躍する企業37社がホテルクリスタルパレスに集結!

【昨年度の会場の様子】183名の学生が参加しました



茨城工業高等専門学校では、令和5年11月16日(木)に本科4年・専攻科1年生と保護者を対象とした「企業研究会」を昨年度に続きホテルクリスタルパレスで開催します。

今年度は二部制となっており、第一部の「就職講演会」では保護者を対象に、(株)帝国データバンクによる“現在の就職市場について”、旭化成(株)による“理系人材の就職と活躍について”の講演を予定しています。

第二部の「企業研究会」では、学生達の進路指導・キャリア教育の一環として、参加企業の事業内容、社会が求める人材や活躍できる人物像等について理解を深めることを目的としています。企業研究を通して、学生達の自律的なキャリア意識の醸成を図り、今後の就職活動および自身のキャリア形成に役立つ機会となることが期待されます。

## プログラム

### (第一部)就職講演会 会場:2F クリスタルホール

- 10:30~10:35 後援会会長挨拶
- 10:35~11:15 基調講演「信用調査会社の視点で分析した現在の就職市場について」  
講演者:株式会社 帝国データバンク 水戸支店長 松浦 元義 様
- 11:20~12:00 就職講演会「高専生のキャリア形成 ～進路選択と企業選びのポイント～」  
旭化成 株式会社 人事部 人財採用係 上野 将嗣 様

### (第二部)企業研究会 会場:4F 瑞宝・万里・豊明

- 14:00~14:05 開会の挨拶(学校長挨拶) ※入場開始 13:30~
- 14:05~14:45 企業1分間スピーチ(全37社)
- 14:50~16:30 ブース形式企業説明(全3回 ①14:50~15:20/②15:25~15:55/③16:00~16:30)
- 16:35~16:40 閉会の挨拶(主催者挨拶)

開催  
期日

令和5年11月16日(木)

就職講演会 10:30~12:00 企業研究会14:00~16:40

会場

ホテルクリスタルパレス

住所:ひたちなか市大平1-22-1(無料駐車場完備)

# 茨城高専の企業研究会!3つのポイント!

## 1. 充実の企業ラインナップ!

令和4年4月に設立された「キャリア支援室」が主導となり、学生のキャリア支援に力を入れる“茨城高専だからこそ”実現した、充実の企業ラインナップです。また、専攻分野で偏りが出ないようにバランス良く多岐にわたる業界が参加する点にもご注目ください!

### 参加企業一覧(全37社)※順不同

旭化成(株)／アサヒビール(株)／(株)カネカ／サントリーグループ／信越化学工業(株)鹿島グループ／スタンレー電気(株)ダイキン工業(株)／大日精化工業(株)／大和ハウス工業(株)／ディップ(株)／東京エレクトロン(株)／東京電力ホールディングス(株)東レ(株)／ニプロ(株)／長谷川香料(株)／東日本高速道路(株)(NEXCO東日本)／東日本旅客鉄道(株)／ファナック(株)富士フイルム(株)／本田技研工業(株)／森永製菓(株)／(有)ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所／アクモス(株)アステラス製薬(株)／イガラシ綜業(株)／オリエンタルモーター(株)土浦事業所／国立研究開発法人日本原子力開発機構(株)小松製作所茨城工場／(株)三友製作所／(株)シーアンドエソリューション／JX金属(株)／(株)トクヤマ／(株)中村自工(株)日立インダストリアルプロダクツ／森永乳業(株) 利根工場／(株)ユードム／ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング(株)那珂工場

## 2. 地域と連携して学生のキャリア意識を育む!

本研究会は **茨城高専創立60周年記念事業** と称し、ひたちなか市を代表する企業の一つである株式会社長寿荘の協力のもと、ホテルクリスタルパレスを会場に開催します。同社とは本校の特長的な教育プログラム「MIPPEプラス」でも連携を図っています。インターンに参加した学生らはホテル業界のホスピタリティ精神を学び、ビジネスシーンにおけるマナーや、フォーマルな会場における立ち居振る舞い等、ビジネスパーソンとして成長する機会となりました。



## 3. 本校学生が卒業までに備えるべき内容・目標を達成するための学習の一環!

国立高等専門学校機構(以下「高専機構」)では、高専機構で学ぶ全ての学生が到達することを目標とする、能力水準・修得内容等を提示したモデルコアカリキュラム(以下「MCC」)を定めています。ここでは、技術者が備えるべき能力を、そのキャリアパスをふまえた上で以下の3つに大別しています。

- ・技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力
- ・技術者が備えるべき分野別の専門的能力
- ・技術者が備えるべき分野横断的能力

この中には、学生のキャリア形成に関係する次のA～Cといった学習内容・目標もあげられています。

### 【A. 未来志向性・キャリアデザイン】

- ・自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。
- ・その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状に必要な学習や活動を考えることができる。
- ・キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。
- ・これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。
- ・高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。

## 【B.企業活動理解】

- ・企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。
- ・企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を挙げることができる。
- ・企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。
- ・企業には社会的責任があることを認識している。
- ・企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。
- ・調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。
- ・企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。
- ・社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。
- ・技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。
- ・技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践的な活動を行った事例を挙げることができる。
- ・高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。

## 【C.学習と企業活動の関連】

- ・企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。
- ・コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。

本校学生は先述A～Cといった内容を学び、目標を達成して卒業することが求められていますが、これらは普段の座学や実験等の授業のみで学べるものではなく、企業実習や工場見学、校外機関との共同事業、各種キャリアイベント等を通じて身につける必要があります。

本研究会は、卒業までに備えるべき内容・目標を達成するための学習の一環と位置付けられるイベントとなるため、原則全学生(本科4年・専攻科1年生)が参加します。また、MCCの観点から大企業グループ、県内大手～中小企業グループそれぞれ1社ずつ説明を受け、3社以上の企業テーブルをまわります。

■ 本リリースに関するお問合せ先

独立行政法人国立高等専門学校機構 茨城工業高等専門学校 広報室

TEL: 029-271-2900 E-mail: pr@ibaraki-ct.ac.jp